

『怪談』と小泉セツ・八雲夫妻 ～再話がつむぐ「ばけばけ」の物語～

NHK 朝ドラ「ばけばけ」モデルの小泉セツ・八雲夫妻
の実像を知り、ドラマと歴史への理解を深めましょう。

再話とは、原話を
再構成し新たな物
語に創作すること

You are the sweetest
little woman in the
whole world. ♡

日 時 令和7年12月14日(日) 14:00～

場 所 富山市立図書館本館 2F ロビー

次 第

(敬称略)

14:00～ はじめに 朗読

小泉セツ「思い出の記」から

14:15～ ご紹介

セツと八雲の生涯の歩み

14:45～ 実演

英語・日本語 紙芝居「ムジナ」

15:00～ フォーラム

「ばけばけ」セツ・八雲夫妻
そして「ヘルン文庫」へ

15:30 閉会



夫妻と長男 雄



松江



共催 富山市立図書館交流行事運営委員会 富山八雲会

ヘルン文庫が富山に来て 101 年 ヘルン文庫に託した思い



小泉セツ

夫が遺した貴重
な蔵書の安全な
受入先を探した。



田部隆次

八雲の愛弟子、伝
記・全集を発刊。
蔵書の受入先確
保に尽力した。



南日恒太郎

旧制富山高校初代
校長、「知の泉」ヘル
ン文庫を誘致。民主
的な教育を推進。



馬場はる

富山の若者のた
め、旧制富山高校
とヘルン文庫を
富山県に寄付。



ハーンの日本関係書籍と『神國日本』手書き原稿
(富山大学中央図書館ヘルン文庫所蔵)



月例会 ハーン著書の輪読など



公開セミナー など (6月)



秋のセミナー(馬場記念公園など)

富山八雲会は、こんな活動に取り組
んでいます。お気軽にご参加ください。

ハーン関係書籍の出版活動



Web ページ



小泉八雲（ハーン）はどんな人？

怪談や評論、随筆などで世界に紹介しました。



八雲のハンコ

没落からの放浪、読書と執筆により名声を得る

ギリシアから英国へアメリカへ

1850年ギリシアのレフカダ島で、ギリシア豪族の娘と、イギリス占領軍医の父の間に生まれ、2歳の時、父の故郷アイルランドへ来ました。4歳の時、母は宗教など様々な理由からギリシアへ帰り、7歳の時、父が英国法により占領地での結婚無効を申し立て母を離縁。大叔母に預けられます。11歳でフランス教会学校、13歳で英国神学校に入學、16歳で左目を失明し、17歳の時に大叔母の破産で学校を中退しました。

19歳でアメリカへ移民し、極貧の中で図書館で勉強し、新聞記者になりました。混血女性との結婚が州法違反となり解雇され、別の新聞社に移りますが、離婚します。西インド諸島マルティニークで2年間に数冊の本を出版しました。

1890年 四十歳で来日

ハーンは、以前から関心があった日本に、旅行案内執筆のため渡日しましたが、契約内容への不満から辞めます。文部省高官の紹介で、松江に赴き、中学校と師範学校で英語を教えました。

身の周りの世話をした旧士族の娘小泉



小泉セツはどんな人？

お話が好きで八雲に物語り、創作に加わった

没落士族への差別と偏見から、東京帝大講師夫人へ

1868年、明治維新の年に、松江の上級武士小泉家に生まれ、生後7日で、稲垣家の養女となった。家は没落し、11歳から機織りをして家計を支えた。

19歳で婿養子を迎えるが貧困のため夫は出奔。セツは大阪に会いに行ぐが、拒絶され自殺を考える。離婚し小泉姓に戻る。

22歳で、ハーンの身の周りの世話をする。新聞に妾と書かれハーンは激怒。23歳で、ハーンや養父母とともに熊本へ。25歳で長男・一雄誕生。27歳ハーンの神戸クロニクル社転職とともに神戸へ。28歳ハーンが帝国天文学文科大学講師とともに東京へ。29歳次男・巖誕生。31歳、三男・清誕生。35歳、長女・壽々子誕生。ハーン東京帝大を解雇

セツと結婚。セツに日本の物語を語ってもらい作品を執筆しました。松江には1年少々暮らしましたが、冬の寒さに堪えられず、セツの大家族とともに熊本第五高等学校に移住しました。ハーンは、熊本が西南戦争以降、近代化により日本のよさを失ったことに大きな憂鬱を感じます。3年後、神戸の英字新聞社に1年間勤めますが、外国人社会の日本人蔑視が嫌いだっといういます。

日本人 小泉八雲となる

当時の英国法では、妻のセツや子どもへの財産相続が認められなかったため、ハーンは日本人に帰化し小泉八雲となります。八雲の名は『古事記』の和歌からとりました。

東京帝国大学で7年間英文学を講義、多くの人材を育てました。

1904年、東京専門学校（現早稲田大）へ移り、心臓病で54歳の生涯を閉じます。

異文化への理解と尊重

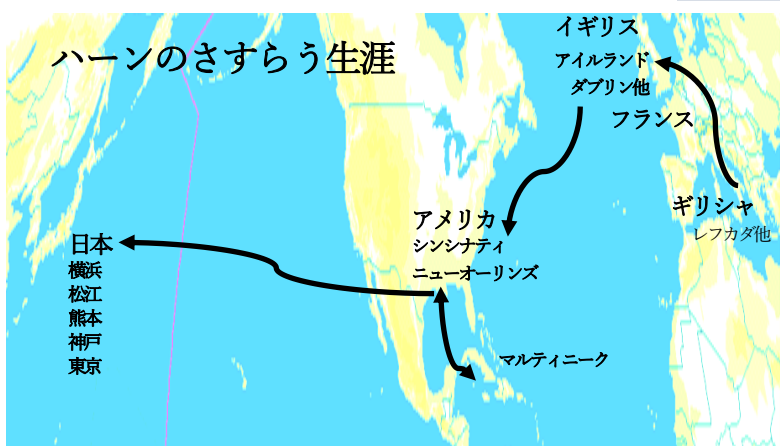
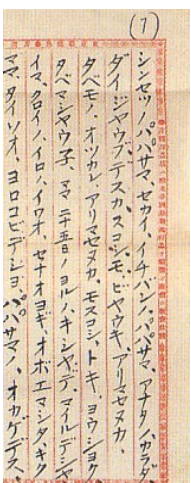
ハーンの著作には、日本の文化への深い洞察があり、異なる存在を受け入れる姿勢が貫かれています。

現在の世界では、異文化や他者を排することによる不幸な事態が続いています。異文化を尊重する重要性を、世界に発信してきたハーンの言葉は、優れて現代的な課題を示してくれています。

36歳、ハーン早稲田大学講師に就任後、9月に死去。

その後、ハーンの愛弟子だった田部隆次が、小泉八雲の伝記や全集を出版。米国の手紙なども取り持った。55歳、ハーン蔵書の旧制富山高等学校購入を承。69歳、死去

セツさんのヘルンさん言葉の手紙
シンセツノパッサマ、セカイイチバンノ、
パッサマ、アナタノ、カラダ、ダイジヨウ
ブ、デスカ、スコシモ、ビヨウキ、アリマ
セヌカ、タベモノ、オツカレ、アリマセヌ
カ…



話の宝箱

セツの「英語覚え書帳」

アエ・ハブ・エテン・ブレンテ「私たくさん食べたべました」I have eaten plenty.
アーラ・ユウ・ハングレ「貴君くっくくですか」Are you hungry?
ピレーテ「きれい」pretty

八雲がセツに言った言葉

ユオ・アーラ・デー・スエテーシタ・レトル・オメン・エン・デー・ホーラ・ワラーダ（英文は、表紙👉にあります）

怪談―セツと八雲による再話文学

八雲は、セツに、自分の言葉で、怪談を語るように頼みました。二人の合作であり、日本の昔話に、西洋的な要素が入っています。

「雪女」の西洋と日本の要素

「雪女」は、日本の昔話に、西洋の「宿命の女」ファムファタールの凄みと、日本的な母性を加えた創作。日本に翻訳され「日本昔話」の一つになりました。

「稲村の火」津波防災の物語

ハーンは、1854年の安政南海地震での津波の際に、現・和歌山県広川町の海岸の住民を助けるため、高台の稲村に火を放ち、避難させた庄屋梧陵の実話を「生き神」にまとめました。

「TSUNAMI」は世界語となり、翻訳され「稲村の火」として、小学校の教科書にも取り上げられています。